



ケーブルのまとめ方と豆知識



Q

センサーのケーブルや、中継ボックスのケーブルは保管時どのようにまとめるのが正しいのでしょうか？

次に使うときのために、なるべく巻き癖がつきにくいまとめ方が良いですね！
せっかくなので、ケーブルについても詳しくご紹介しましょう！



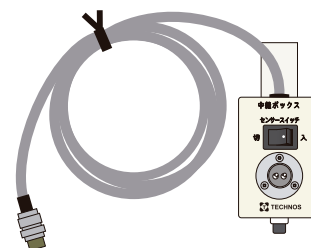
■ 保管時のケーブルのまとめ方

イラストの様に、円を描くように束ね1か所をビニールタイで固定します。
なるべくケーブルの巻き癖がつかないまとめ方をしてください。



テクノスジャパンに届く修理品を返却する際は
ケーブルをこの方法でまとめ、お客様へお返ししています！

ビニールタイや
↓マジックテープで固定する。



■ 保管時の注意点

- ・ケーブルを直角に曲げないでください。
- ・ケーブルに過度の圧迫をしないでください。
⇒断線故障の原因となります。

■ 使用時こうすると長持ちします！



- ケーブルを直角に曲げない
- ケーブルをピンと張りすぎず
ゆったりと余裕をもって接続
- キャスターなどで踏まない
- ガムテープで長期間固定しない
(ケーブルが硬化し故障の原因になります)

■ ケーブルの中身はどうなっている？

ケーブルの中には、導体だけでなく「介在」と呼ばれる綿糸の詰め物が入っています。これは、引っ張り強さなど強度の向上が目的です。

テクノスジャパン製品のケーブルには、この「介在」が市販のケーブルより多く使われており、**市販品の約3倍の強度があります。**

ケーブルの断面イラスト（イメージ）

市販品

弊社オリジナル



介在
綿の糸の量が多い



**ケーブルの強度は
市販品の約3倍！**